

# つぼみだより

平成22年 6月号  
NO/3  
中高生の部

今年も梅雨の時期がやってきました。この梅雨が終わる頃には夏が始まりますね。中学校の3年間早い・・・と実感です。この速さについていけるように毎日毎日を大切にしていかなければと思い、療育の取り組みを進めています。どんな力を付ければ良いのか？と試行錯誤を繰り返す中、現在進行形の療育内容となっています。療育の目標・目的を再確認することで、身につけていかなければいけないものを見つけ取り入れていきたいと考えています。



## 今月のすがた

基本療育では、裁縫を始めています。小さな針の穴とにらっめこ・・・じっと見ること、注視することが苦手だった子も目的「この穴に糸を通す」がはっきりしている事で集中して取り組んでいます。この取り組みの中には指先の技術習得・操作性・集中力・注視力に合わせて生活力を含んでいます。「ボタンがとれた時にボタンがつけれると良いよね・・・」のスタッフの思いから始まった取り組みですが最終目標はボタンつけです。この目標に向って現在は糸と通しと波縫いを頑張っています。表から針を通す 裏から引く 裏から通す 表から引くを繰り返しています。波縫いをしているつもりが、この手順を間違えるとまつり縫いになってしまったりと本当に四苦八苦・・・という姿です。糸の長さにも一苦労。糸の始末にも一苦労です。ボタンつけ間での道のりは遠い・・・が目標に近づけるよう取り組みたいと思います。



長さでは、定規をつかって真っ直ぐな線を引くことから始めています。始点と終点の理解 点と線を合わせるための手の動き・腕の動き・指先の力の入れ方・注視力・先が見通せる力。それぞれが重なり合ってきたきれいな1本の線が引けるのだと思っています。そんな線が引けるようにと取り組んでいます。それから、長い 短いの感覚。感覚を養うのはやはり経験。何回も何回も繰り返し自分の中のものさしをつくること。作り出すことを心がけています。単純な作業ほど大変。楽しみ 達成感をどう見つけ出していけるのかも重要なこと。分かる楽しさを伝えながら取り組んでいます。

重さでは、大よその感覚を身につけるのも慣れ。この慣れを作るにはやはり経験しかない。という事で素材を変えて何回も何回も量りを使い取り組んでいます。先日初めて素材を粘土に変えました。そしたら量るところか粘土遊びが始まってしまい、予想を大きく外れてしまいました。

楽しそうに粘土をこね始める子どもの姿にびっくりする場面もありました。(笑) そんな失敗も  
ありながら楽しい中に学びの時間があるのだと言い聞かせるスタッフの姿が  
ありました。

分類では、色と形を混合させたカードでの分類に挑戦！例えば○が4色  
が4色 が4色の組み合わせがあります 色であわせる 形であわ  
せるでは分類の方法が変わってくるのです。指示の出し方によっても方法  
は変わるのです。この取り組みでは子どもの姿を見ながら指示の方法を変  
えなければいけません。そうしないと混乱してしまいます。1つの工程の  
中にどれだけ細かい指示を入れるかで、イメージしやすく理解しやすくな  
るのです。「出来ないことを作らない。出来る方法を共に考える。」この姿  
勢を崩すことなく取り組みたいと思います。



いろいろな療育の取り組みの中にきっと必要な力が育ってくれる事を期待しながら日々頑張っ  
ています。

### ありがとうございます

振り返り表の保護者のコメント記入ありがとうございます。子ども達の励みになり、また私  
たちスタッフの励みにもなっています。保護者の方から「初めてゴールドのシールを貼って帰っ  
てきました」とか「シールの色を気にするようになりました」とか「自分から振り返り表を見せ  
てくれるようになりました」と家庭での子ども達の様子を教えていただいています。つぼみでも  
振り返り表のチェック項目を意識して、自分の姿を振り返り行動するようになってきています。  
振り返り表を通して意欲・意識をこれかも高められるように活用していきたいと考えています。  
引き続きコメント記入のご協力をお願いします。

### Kのひとつこと

今回は松田先生。通称まっちゃんです。週に2回しか来ないKにいじられて最近、顔を見ると無視する。まっちゃんの仕事は事務。光陽全職員の雑務から、レセプト、会計などをマルチにこなす。そんなまっちゃんの特技は、「独り言」パソコンを打っていても、お金を数えていても、何をしていても「独り言」Kは、まっちゃんが隣にいると「独り言」につられて返事をしてしまうので、近寄らないようにしている。(笑) 保護者様、つぼみに電話すると多分まっちゃんが出るので、「まっちゃん今日の独り言は？」って気楽に声をかけてください。

### お知らせ

「つぼみだより」も、通算26回の発行を迎えることになりました。第1号からを振り返ると、本当にいろんなことが・・・笑いあり 涙ありでひとつひとつの取り組みを思い出します。これもつぼみの足跡 進んできた道がちゃんと残っているからこそです。これからもしっかりと足跡を残していきたいと思います。さて来月号より「つぼみだより」から「光陽福祉会 会報誌」として新たに発行していくこととなりました。長い間愛読していただきありがとうございます。これからは光陽福祉会として行なっている事業の紹介から、そこで頑張っている子ども達・利用者者の様子、姿をお伝えしていきたいと思います。これからも引き続きご愛読下さい。